

Let's 和の音♪

伝統文化シリーズ

第三弾

HOGAKU to SUMO

邦楽と相撲

相撲を100倍楽しく聴く“!?”

邦楽と密接なつながりのある日本の伝統文化をテーマに、3年シリーズでおおくりしている「Let's 和の音♪伝統文化シリーズ」。第2弾のテーマは「邦楽と相撲」。

元力士の松田哲博さんと呼出しの邦夫さんによる、「相撲甚句」「呼び上げ」「太鼓」「柝入れ」の実演とトークのほか、明治期に活躍し角界の風雲児と呼ばれた初代高砂浦五郎の人生を、浪曲のように地歌三味線で弾き語る「浪曲地歌」で、邦楽の視点から相撲の魅力に迫ります。



相撲探求家・松田哲博(元力士)による
相撲甚句

高砂部屋・呼出し邦夫による
「呼び上げ」「柝入れ」「寄せ・一番はね太鼓」

相撲を愛する作曲家・神田佳子による
新作初演「初代高砂浦五郎・其ノ三」
『改革を成し遂げ絶頂期の段』作曲秘話

地歌箏曲家・竹澤悦子による
「浪曲地歌・初代高砂浦五郎」

宮崎公演 2022年8月20日(土)

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) イベントホール

都城公演 2022年8月21日(日)

都城市総合文化ホール 大ホール
◆両公演ともに 13:30開場 14:00開演

■料金(全席自由)
一般 **2,000円** U25割 **1,000円**
(くれっしんど倶楽部会員1,800円)

※当日は一般価格のみ500円増し
※会員価格の適用は、メディキット県民文化センターでの購入時のみとなります。

「Let's 和の音♪伝統文化シリーズ」第三弾は『邦楽と落語』を予定しております。お楽しみに!

【主催・問い合わせ先】

宮崎県立芸術劇場 TEL 0985-28-3208
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER <http://www.miyazaki-ac.jp>

【共催(都城公演)】都城市文化振興財団・MAST共同事業体
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

本事業は、新型コロナウイルス感染拡大の防止策、感染リスクの低減策を実施いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

松田 哲博 相撲探求家

Tetsuhiro Matsuda

元・一ノ矢。1960年鹿児島県徳之島生まれ。朝日カルチャーセンター講師。琉球大学理学部物理学科卒業後、若松部屋(現 高砂部屋)に入門し、2007年11月場所まで24年間の力士生活。引退後、13年間高砂部屋マネージャーを務め、退職後もアドバイザーとして高砂部屋に関わりながら、シコトレ講座や相撲の物理的な探究を続けている。著書に『シコふんじゃおう』(ベースボール・マガジン社)、『四肢鍛錬で作る達人』(BABジャパン)ほか多数。月刊秘伝誌『漱石と真彦の「相撲の力学」問答』連載中。



Kunio

呼出し邦夫 高砂部屋

昭和48年5月19日生まれ。埼玉県上尾市出身。中学生の頃、大相撲に興味を持ち始め、次第に角界入門を志すようになる。平成4年3月場所に、若松部屋(現 高砂部屋)所属の「呼出し」として日本相撲協会に採用される。入門後は、呼出しの仕事である、土俵上での「呼び上げ」・檜の上で叩く「太鼓」・「土俵造り」などの修業を重ねる。平成14年7月場所まで十両格に昇進。現在は、後進の指導も担う。また、イベントや講演会などで、大相撲の魅力を伝える活動も行っている。

竹澤 悦子 地歌箏曲家

Etsuko Takezawa

石川県出身、東京藝術大学音楽学部卒業。1987年沢井合奏団アジア、ヨーロッパ5カ国ツアーでデビュー。1993年結成のKOTO VORTEXで注目を集め、2009年クロスカルテット招聘によりNYカーネギーホール公演。ソロでは古典と同時にジャンルを超えて活動を展開。2013年ソアラバム「へちま」発表。「さいたまトリエンナーレ2016」の出演を機に、初代高砂浦五郎伝を元力士・一ノ矢松田哲博氏の原案、日本相撲間芸術作曲家協議会(JACSHA)に神田佳子を加えた4人の作曲家による「浪曲地歌・相撲もの」創作プロジェクトを開始。其ノ一野村誠2020、其ノ二鶴見幸代2021、今回宮崎にて其ノ三初演。其ノ四縦山智子で完結予定。地歌箏曲ラボ主宰。沢井箏曲院教授。



神田 佳子 打楽器奏者/作曲家

Yoshiko Kanda

打楽器奏者&作曲家。東京藝術大学器楽科打楽器専攻卒業及び同大学院修了。現代音楽のスペシャリストとして、国内外で数多くの新作初演を行ってきた。様々な分野での即興演奏も行い、正倉院復元楽器の演奏やジャズミュージシャンとの共演等、時代やジャンルを超えた打楽器演奏の可能性にアプローチしている。作曲活動も継続的に行っており、作品は、日本国内各地をはじめ、ニューヨーク、ミラノ他世界各地で上演されている。また、相撲太鼓を所有するほどの生粋の好角家。相撲にまつわる「SUMO-TAIKO」、相撲組曲「Xe」なども作曲し、心技体をキーワードに相撲と音楽の真髄を探究中。



織田 麻有佐 企画監修/聞き手

Mayusa Oda

NHK邦楽技能者育成会28期卒業。1990年邦楽ジャーナル入社。2004年から3年間、津軽三味線と太鼓の月刊誌「バチ2」編集長。19年よりフリーの立場で邦楽ジャーナルに携わる。01-10年、毎年全国各地で開催された参加型複合イベント「日本の音フェスティバル」(主催:JASRAC)や、11-17年野坂操書×沢井一恵「変絃自在」全国ツアーなど、日本音楽を紹介するコンサートなどの企画制作も手がける。20年ライブシリーズ「日本の音月舞台に響く」開始。21年インタビューYouTubeチャンネル「jsound」を田中悠美子と開始。共著に「まるごと三味線の本」(青弓社)など。



©ヒダキトモコ

Let's和の音

伝統文化シリーズ

と邦楽相撲 HOGAKU to SUMO

■チケット料金/〈全席自由〉
 一般 2,000円
 (くれっしえんど倶楽部会員1,800円)
 U25割 1,000円 ※鑑賞時25歳以下

■チケット発売/5月15日(日)一斉発売

※未就学児の入場はご遠慮ください。※会員価格の適用は、メディキット県民文化センターでの購入時のみとなります。都城市総合文化ホールでは、会員価格での購入はできませんのでご了承ください。※U25割は、年齢の確認ができる身分証の提示をお願いする場合があります。※当日券が出る場合は500円増し(ただしU25割を除く)。販売は当日の午前10時から各会場の窓口/電話で行います。※車椅子席・介助席は、各会場の窓口/電話予約のみの取り扱いとなります。

■チケット取扱い/
 〈宮崎公演・都城公演〉
 メディキット県民文化センター チケットセンター
TEL 0985-28-7766

【窓口・電話受付】10:00~18:30/月曜休館
 ※月曜が祝日の場合は翌平日休館

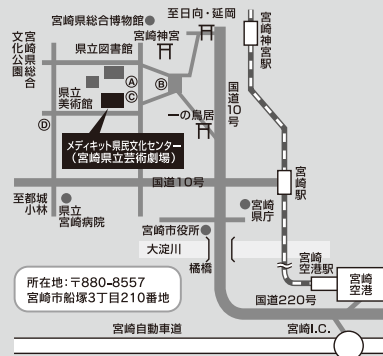
WEB 劇場HPで24時間予約・購入できます。

◎チケットぴあ (webサイトのみ取り扱い)

〈都城公演〉
 都城市総合文化ホール チケットカウンター
TEL 0986-23-7190

【窓口・電話受付】10:00~19:00/水曜休館

宮崎公演

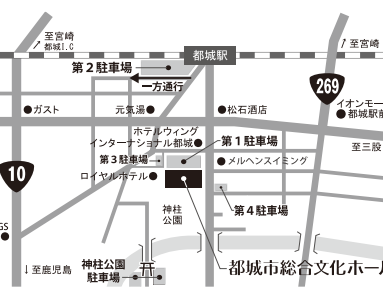


- 会場のご案内
- 宮崎交通バス(橋通方面から)
 - ①「文化公園」行き 終点「文化公園」下車→徒歩1分
 - ②「宮崎神宮」行き 終点「宮崎神宮」下車→徒歩5分
 - ③「国富・綾」「平和ヶ丘」または「古賀総合病院」行き「文化公園前」下車→徒歩1分
 - ④「平和台」行き「霧島3丁目」下車→徒歩4分

- JR日豊本線
- ・「宮崎駅」から:タクシー約10分
 - ・「宮崎神宮駅」から:タクシー約5分、徒歩約20分
- メディキット県民文化センターには専用の駐車場がありません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

託児サービスについて【対象:生後6ヶ月~12歳まで】
 本公演では託児サービスがご利用いただけます(料金:お子様おひとりにつき1,000円(税込))
 申し込みは、公演日の1週間前までとなります。なお、キャンセルされる場合は公演日の3日前までにご連絡ください。
申込先 NPO法人みやざき子ども文化センター TEL080-4694-8686 (月~金10:00~18:00/土日祝日休み)

都城公演



- 会場のご案内
- 公共交通機関の案内
 - ・JR日豊本線:都城駅から徒歩で約10分
 - ・最寄バス停:北原町(宮崎交通)、総合文化ホール前(宮崎交通)、文化ホール前(高崎観光)
 - ・マイカー:宮崎方面から...宮崎自動車道 都城ICを下りて国道10号線へ。
- ※近隣店舗等への無断駐車はご遠慮ください。当施設をご利用の間は駐車料金の無料サービスがありますので、駐車券は窓口までお持ちください。身体障がい者等専用スペースをご利用の際は、近くの係員にお知らせください。

託児サービスについて【対象:小学生未満のお子様(乳児の場合は首が座っていることが条件)】
 託児サービスがございます(料金:お子様おひとりにつき1,000円、2人目以降500円)
 公演日の2週間前までに受付、定員になり次第締め切ります。
申込先 都城市総合文化ホール TEL0986-23-7140 (水曜休館/午前9時~午後7時)

都城市総合文化ホール
 〒885-0024 宮崎県都城市北原町1106番地100